

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会 芦北支部

水俣・芦北地域のタマネギ栽培における省力化検討

水俣・芦北地域では、温暖な気候を活かした早生タマネギ「サラたまちゃん」を環境にやさしい生産方式により栽培しており、全国的に認知された地域ブランド作物となっています。しかし、定植から収穫までの多くの作業が手作業であり、生産者の高齢化が進み、労働力不足や産地の維持が懸念されています。

このような中、当支部ではタマネギ栽培の省力化に向けて、「野菜産地育成実証展示ほ事業」を活用し、固化培土（プラントプラグ）を用いた定植作業の機械化体系を検討しました。その結果、定植に係る時間を10aあたり6時間削減でき、定植に係る費用が慣行技術と同程度であったことから、固化培土の導入が定植作業の省力化につながることを確認しました。また、固化培土の利用による地上部の生育及び収穫物への影響もみられませんでした。今回の結果については、定植機械の導入費用等が必要となることや小面積のほ場では利用しにくいことから、主に大規模経営や規模拡大に有効であり、活用を図っていきます。

当支部では、水俣・芦北地域のタマネギ産地の維持・拡大に向けて、今後も省力化技術等の検討を進めていきます。



写真1 機械定植の様子



写真2 固化培土を使用した定植苗